

令和 6 年度の検討の方向性

現状・課題

病院

<入院機能>

一般病床 38 床（急性期 28 床、回復期（地域急性期）10 床）

R5稼働率：41.2%

R5入院延患者数：5,719人（16人/日）

<外来>

内科、外科、整形外科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科（全 7 科）

R5外来患者数：20,714人（85人/日）

診療所

黒田、宇津、細野、山国の 4 箇所

- ・R5延患者数：355人（2人/日 ※細野除く。）
- ・公民館等を利用しているため、医療機能として課題あり。
- ・医師、事務職員を京北病院から派遣。

老人保健施設

29 床

- ・R5稼働率：72.7%
- ・R5延利用者数：7,718人（21人/日）
- ・運営費負担金無し。

訪問看護ステーション

通所リハビリテーション

居宅介護支援事業所

- ・訪問看護（医業） R5延患者数：1,251人（5人/日）
- ・訪問看護（介護） R5延患者数：4,502人（19人/日）
- ・通所リハ R5利用者数：3,480人（14人/人）

急性期：状態の早期安定化に向けて、積極的に治療行為を行う。

回復期（地域急性期）：急性期を経過した患者の在宅復帰に向けた治療やリハビリを行う。また、軽中等症患者の救急受入れ機能も担う。

・入院患者数について、2030年では32.2人/日（2035年では30.3人/日）の見込み。

・稼働率80%程度を想定して必要な病床数を検討。

・外来患者数について、2030年では、延べ18,337人（75人/日）。

・2030年において、延べ7,823人の利用見込み（21人/日）。

・通所リハ利用者について、2030年において、延べ3,194人の利用見込み（13人/日）。

今後の在り方

病院

一般病床 38 床

急性期 28 床

回復期（地域急性期）10 床

一般病床 38 床

or 急性期 0 床

回復期（地域急性期）38 床

外来機能

内科、外科、整形外科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科（全 7 科）

【新】オンライン診療（遠隔診療）

※病床数等、今後の人口動態等に応じて精査要。

診療所

第 2 回検討会にて検討

老人保健施設

第 2 回検討会にて検討

訪問看護ステーション

通所リハビリテーション

居宅介護支援事業所

継続

- ・現状患者が5,719人/年（15.6人/日）のため、集患努力が必要。
- ・入院患者の病状から、全床を地域急性期にすることが可能か患者像の精査が必要。
- ・京北病院では、地域急性期の方が単価が高くなっているため、全床を地域急性期にすることで、全体的には増収となる見込み。